

聖霊女子短期大学

中期計画 2022年～2024年

建学の精神「愛と人間の尊厳」

目的「個人の力を地域の力に・地域の力を世界の力に」

中期計画2022年～2024年

本学では、三専攻で習得出来る資格に加えて新しくキャリアコースを新設し、地域社会とグローバル社会とデジタル社会の明るい未来を育む女性リーダーを育てるために、本学の豊かな①「Care」ケア②「Learning」学習③「Transfer」実習という教育方法に2022年度から④コーチング「Coaching」というステップを取り入れる予定です。コーチングの目的は①学生の行きたい方向に進むのを助ける。②自己意識を高める③可能性を解き放ち、学生の日常のパフォーマンスの最大化を図る。④ビジネスのグローバルなマネジメントスキルの育成です。そのために、これから、ロボットなどを導入し、学生自身や地域と世界を「幸せにする力」であるリーダーシップに必要な165の個人的資質を科学的に心に植えつける教育コーチングを行います。教育コーチング、授業のIoT化及びロボットとICTを取り入れた最先端の教育方法を通じて、本学を秋田県が世界に誇れる教育を取り入れた教育機関にしたいと考えております。学生が卒業後には、与えられた分野で中心的な役割を担い周囲を幸せに出来る人材やビジネスウーマンとして活躍し、社会から高い評価を受ける教育・研究と地域貢献に力を注ぐ高等教育機関にさらに進化することを目標にします。そして、3年間で卒業生がこれまで以上に母校に誇りを持てるようなブランド力のある教育機関として発展させていきます。そのために、本学のスタッフ全員の力を結集し、聖霊女子短期大学をワンランク上の教育機関に押し上げる予定です。

2022年度 年間計画

今年度は、愛と人間の尊厳を学び、世界・家族に愛され、期待されている女性の尊厳と使命を自覚し、新時代に自己の可能性を開花させながら、地球家族の一員として、健全なグローバル社会・デジタル社会・地域社会づくりに貢献できるリーダーシップ（幸せにする力）を持った人間を育成するために様々な教育活動を計画しました。そのために、学生一人ひとりを大切にしながら学生のコミュニケーションスキル、グローバル性、知識、スキル、キャリア及びリーダーシップ（幸せにする力）、ICT 力、AI リテラシーの向上に取り組みます。

I 研究計画

A) ロボットプログラミング・ICT・IoT 分野における研究や活動計画

- ①Robot—Assisted Education (RAE) ロボット利活用教育
- ②Robot—Aided Life Style Learning(RALSL) ロボット活用生活様式学習
- ③AI リテラシー教育導入に向けての準備
- ④ICT・IoT 教育の教室の準備

B) 教育研究

- ①グローバル教育研究
- ②人間発達研究
- ③4 ステップ教育方法研究・教育コーチング研究
- ④英語教育研究
- ⑤リーダーシップ教育研究
- ⑥国際教養教員育成教育研究
- ⑦バイリンガル教育研究

C) グローバル世界と地域文化研究

- ①ドイツ文化研究
- ②フィリピン文化研究
- ③南アジアビジネスと文化研究
- ④アメリカ文化研究
- ⑤SDGs 研究
- ⑥インド文化研究

A) 3 専攻共通の魅力づくり

- ①グローバル教育研究「グローバル教養教科書作成（英語）：PDF」
- ②リーダーシップ教育研究「リーダーシップコーチング 教科書作成（英語）：PDF」
- ③4 ステップ教育方法開始 希望する学生が地域リーダーシップ、自己リーダーシップ、グローバルリーダーシップのコーチングを受講可能
- ④ラウンジ・ワンポイント英会話教育開始

- ⑤ラウンジ・ワンポイント Robot—Aided Life Style Learning(RALSL)ロボット活用生活
様式学習
- ⑥ラウンジ・ワンポイント Robot—Assisted Education (RAE) ロボット利活用教育
- ⑦ICT システム専門の教員の雇用と企業との連携
- ⑧海外英語研修準備
- ⑧AI リテラシー教育準備
- ⑨DX 力の育成

B) 生活文化専攻の魅力づくり

- ①プログラミングアジア演習開始準備
- ②アメリカインターンシップ開始準備
- ③地域インターンシップ開始準備
- ④韓国文化研究開始準備
- ⑤リーダーシップコーチング教室の準備
- ⑥ラウンジ・地域・グローバル文化体験開始
- ⑦ラウンジ・グローバル・地域食文化体験開始
- ⑧スーパー専門教育（女性リーダー育成コース）
- ⑨DX 力の向上

C) 生活こども専攻の魅力づくり

- ①グローバル保育サポーター育成（聖霊短大資格）
- ②バイリンガル保育サポーター育成（聖霊短大資格）
- ③あそびマイスター育成（聖霊短大資格）（準備）
- ④ICT 保育マイスター育成（聖霊短大資格）（準備）
- ⑤ICT・IoT 教育（準備）

D)健康栄養専攻魅力づくり

- ①バイリンガル人材育成（検討開始）
- ②グローバルな視点で健康栄養教育（検討開始）

III. 教育のデジタル化と教育環境の分野での計画

- ①教室の学生用 WiFi 導入
- ②学生情報掲示板導入（検討）
- ③デジタル図書（検討開始）
- ④図書館に冷房の導入 実施（国からの補助金延期に伴い延期）

IV. 学生募集

Web ページ、動画、ポスターなどの作成・公開による聖霊短大の魅力発信

V. 社会連携

21 世紀のグローバル社会における公共性の構築

- ①学術成果の社会への還元

- ②学術成果を活用した連携や起業の促進
- ③教育機能の社会への展開の準備
- ④聖霊短大の教育への企業や公共機関・地域の活動家・専門機関の参加の強化
- ⑤社会に開かれた教育課程の導入

VI. 運営

複合的な「場」の充実と活性化

- ①機動的な運営体制の確立（管理と教職の融合）
- ②小型学園運営体制と役職の合理化（役職の融合と必要ではない役職の廃止）
- ③基盤的な教育・研究経費の確保
- ④卒業生・支援者・姉妹大学や高校とのネットワークの充実
- ⑤教育研究を支える環境の整備
- ⑥ペーパーレスキャンパス（資料などの電子化）
- ⑦省エネ対策
- ⑧建物の耐震強化検討
- ⑨温暖化対策のための冷房導入検討

2023年度 年間計画

中期計画に基づいて、今年度は愛と人間の尊厳を学び、世界・家族に愛され、期待されている女性の尊厳と使命を自覚し、新時代に自己の可能性を開花させながら、地球家族の一員として、健全なグローバル社会・デジタル社会・地域社会づくりに貢献できるリーダーシップ（幸せにする力）を持った人間を育成するために様々な教育活動を強化する予定です。学生一人ひとりを大切にしながら学生のコミュニケーションスキル、グローバル性、知識、スキル、キャリア及びリーダーシップ（幸せにする力）、ICT 力、AI リテラシー、イノベーション力の更なる向上のために下記の内容に取り組みます。そして、学生の DX力の向上に向けて専門の教員の雇用なども予定しています。

I 研究計画

A) ロボットプログラミング・ICT・IoT 分野における研究や活動計画

- ①Robot—Assisted Education (RAE) ロボット利活用教育
- ②Robot—Aided Life Style Learning(RALSL)ロボット活用生活様式学習
- ③AI リテラシー教育導入に向けての準備
- ④ICT・IoT 教育の教室の準備

B) 教育研究

- ①グローバル教育研究
- ②人間発達研究
- ③4 ステップ教育方法研究・教育コーチング研究
- ④英語教育研究
- ⑤リーダーシップ教育研究
- ⑥国際教養教員育成教育研究
- ⑦バイリンガル教育研究

C) グローバル世界と地域文化研究

- ①ドイツ文化研究
- ②フィリピン文化研究
- ③南アジアビジネスと文化研究
- ④アメリカ文化研究
- ⑤SDGs 研究
- ⑥インド文化研究

A) 3 専攻共通の魅力づくり

- ①グローバル教育研究 「グローバル教養教科書作成（英語）：PDF」
- ②リーダーシップ教育研究 「リーダーシップコーチング教科書作成（英語）：PDF」
- ③4 ステップ教育方法開始（希望する学生が地域リーダーシップ、自己リーダーシップ、

グローバルリーダーシップのコーチングを受講可能)

- ④ラウンジ・ワンポイント英会話教育開始
- ⑤ラウンジ・ワンポイント Robot—Aided Life Style Learning(RALSL)ロボット活用生活様式学習
- ⑥ラウンジ・ワンポイント Robot—Assisted Education (RAE) ロボット利活用教育
- ⑦海外英語研修準備
- ⑧AI リテラシー教育準備

B) 生活文化専攻の魅力づくり

- ①プログラミングアジア演習開始準備
- ②アメリカインターンシップ開始準備
- ③地域インターンシップ開始準備
- ④韓国文化研究開始準備
- ⑤リーダーシップコーチング教室の準備
- ⑥ラウンジ・地域・グローバル文化体験開始
- ⑦ラウンジ・グローバル食文化体験開始
- ⑧スーパー専門教育（女性リーダー育成コース）
- ⑨DX力の向上

C)生活こども専攻の魅力づくり

- ①国際保育サポーター育成（聖霊短大資格）（準備）
- ②バイリンガル保育サポーター育成（準備）
- ③遊びマイスター育成（聖霊短大資格）（準備）
- ④ICT 保育マイスター育成（聖霊短大資格）（準備）
- ⑤ICT・IoT 教育（準備）
- ⑥マインドフルネス・インクルーシブ精神・SDG s を踏まえた教育の開発
- ⑦海外の幼児教育施設との交流

D)健康栄養専攻魅力づくり

- ①バイリンガル人材育成（検討開始）
- ②グローバルな視点で健康栄養教育（検討開始）

III. 教育のデジタル化と教育環境の分野での計画

- ①教室の学生用 WIFI 導入
- ②学生情報掲示板導入（検討）
- ③デジタル図書（検討開始）
- ④図書館に冷房の導入

V. 社会連携

21 世紀のグローバル社会における公共性の構築

- ①学術成果の社会への還元

- ②学術成果を活用した連携や起業の促進
- ③教育機能の社会への展開の準備
- ④聖霊短大の教育への企業や公共機関・地域の活動家・専門機関の参加の強化

VI. 運営

複合的な「場」の充実と活性化

- ①機動的な運営体制の確立（管理と教職の融合）
- ②小型学園運営体制と役職の合理化（役職の融合と必要ではない役職の廃止）
- ③基盤的な教育・研究経費の確保
- ④卒業生・支援者・姉妹大学や高校とのネットワークの充実
- ⑤教育研究を支える環境の整備
- ⑥ペーパーレスキャンパス（資料などの電子化）
- ⑦省エネ対策
- ⑧建物の耐震強化検討（図書館、マリア館）
- ⑨温暖化対策のための冷房導入（ヤンセンホール冷房故障）

2024年度 年間計画

愛と人間の尊厳を学び、世界・家族に愛され、期待されている女性の尊厳と使命を自覚し、新時代に自己の可能性を開花させながら、地球家族の一員として、健全なグローバル社会・デジタル社会・地域社会づくりに貢献できるリーダーシップ（幸せにする力）を持った人間を育成する。そのために、学生一人一人を大切にしながら彼らのコミュニケーションスキル、グローバル教養、学力の向上、キャリア及びリーダーシップ（幸せにする力）の向上のために下記の事に取り組む。

1. 研究計画

A) ロボットプログラミング・ICT・IoT・DX 分野における研究や活動計画

- ①Robot-Assisted Education(RAE)：ロボット利活用教育研究分野では、学生がロボット利活用生活への興味を育めるように、初心者用ロボブロックを活用したプログラムを継続的に推進する。
- ②動画作成授業の導入
- ③AI リテラシー教育導入に向けての準備

B) 教育研究

- ①グローバル教育研究
- ②インクルーシブ教育研究
- ③4ステップ教育方法研究
- ④教育コーチング研究
- ⑤自己リーダーシップ教育研究
- ⑥国際教養教諭育成教育研究
- ⑦バイリンガル教育研究

C) グローバル世界と地域文化研究

- ①ドイツ文化研究
- ②中国ビジネス文化研究
- ③南アジアビジネスと文化研究
- ④アメリカ文化研究
- ⑤SDGs 研究
- ⑥シンガポール文化研究

D) ICT を活用した国際保育交流研究

2. 教育分野における計画

未来を育むリーダー育成を目指して、以下の教育を推進する。

- A) スーパーグローバル教養育成：年間3回の地域や海外をテーマにした踊りや食文化体験イベントの実施

B) 英会話教育・海外英語研修の充実

C) AI リテラシーおよび DX 分野：AI リテラシー教育内容の充実

秋田県デジタル・トランスフォーメーション本部と（D X）連携、動画作成授業の導入準備

D) リーダーシップ（幸せにする力）：共通科目へのリーダーシップ論（①グローバルリーダーシップ②地域リーダーシップ③自己リーダーシップ）の導入

3. 国際性の分野における計画

A) グローバル女性リーダー研修 6 人（シンガポール）

B) 海外保育研修 5 人（シンガポール）

C) 秋田市の姉妹都市アメリカ・キナイ半島郡の視察団との短大における交流

D) 海外英語研修

E) ドイツ語圏研修

F) ICT を活用したデジタル国際保育交流（インド）

G) ICT を活用した文化交流（コンゴ民主共和国）

4. 教育リソースの分野における計画

A) インクルーシブ保育・教育研究センター設置

B) 遊びの環境研究センター設置

C) グローバルビジネス・イノベーション・リーダーシップ研究所設置

D) DX 研究センター設置の検討

E) A～C に関する研究内容・研究者などを県内一面新聞記事にて紹介

5. 教育成果の分野における計画

A) 企業トップや地域トップの授業リソース・パーソンとしての招聘

B) 秋田の未来を創る協議会のモニタリングへの学生の参加

6. 教育充実度の分野における計画

A) 学生のインターン

B) 遊びの環境研究センター：学生と教員が共同で行う遊びの環境研究

C) グローバルビジネスイノベーションとリーダーシップ開発研究所：学生と教員が合同で行うビジネスネットワーク構築研究、学生と教員が合同で行う地域活性化イベント企画

7. 3 専攻共通の魅力づくり

A) ラウンジ・ワンポイント英会話教育の継続的发展

B) ラウンジ・ワンポイント Robot-AidedLifeStyleLearning(RALSL)ロボット活用生活様式学習の継続的发展

C) ラウンジ・ワンポイント Robot-AssistedEducation(RAE)ロボット利活用教育の継続的发展

8. 生活文化専攻・生活こども専攻の魅力づくり

A) 国際保育士育成の充実

- B) バイリンガル保育士教育の充実
- C) インクルーシブ保育コース、SDG s コースの導入
- D) 地域と連携した遊び場創造プロジェクトの継続的发展
- 9. 健康栄養専攻の魅力づくり
 - A) バイリンガル人材育成（検討開始）
 - B) グローバルな視点での健康栄養教育（検討開始）
- 10. 教育のデジタル化と教育環境の分野における計画
 - A) 教室の学生用 Wi-Fi 導入
 - B) デジタル図書の導入（検討開始）
 - C) 図書館への冷房の設置
- 11. 本学における学生募集の課題と対策としての募集活動
 - A) 課題①女子学生の女子大学離れ
 - 対策：短大教育の魅力発信（ダブルキャリア・リーダー教育・新教育方法）
 - B) 課題②女子学生の短大教育離れ
 - 対策：短大教育の魅力発信（ダブルキャリア・リーダー教育・新教育方法）
 - C) 課題③専門性の高い教育機関を求める女子学生の地方離れ
 - 対策：博士号を持つ教員の雇用促進
 - D) 課題④進学先として短大を推奨する高校教員の急速な減少
 - 対策：高校生に直接短大の魅力を体験出来るキャンプを開始
短大教育の魅力発信（ダブルキャリア・リーダー教育・新教育方法）
 - E) 課題⑤地方の女子短大への進学を進める家族の減少
 - 対策：短大教育の魅力発信（ダブルキャリア・リーダー教育・新教育方法）
 - F) 課題⑥文部科学省の4年制+2年制度の推進による塾や学校教育における短大のイメージダウン
 - 対策：4年間のダブルキャリア制度と4ステップ教育方法を取り入れた高いレベルの短大教育のアピール
 - G) 課題⑦短大卒業生の就職先の減少
 - 対策：企業に向けた ICT 力・リーダーシップ・グローバル教養・英会話力という学力を育める短大教育の魅力発信、商工会議所や企業のトップを講師に招いて短大教育の魅力を体験してもらうことによる短大の魅力向上。
 - H) 課題⑧4年制大学の志願者数が定員を下回ったことによる4年制大学への編入学学生数の減少
 - 対策：4年間のダブルキャリア制度のアピール
 - I) 課題⑨本学における教育内容およびコースの認知不足
 - 対策：コースの内容や教育内容に関する情報発信（ガイドブック、HP）
ポスターの掲示（秋田駅ポスター2枚、秋田空港ポスター1枚：搭乗前の待合所）

YOUTUBE・Instagram・テレビ CM で短大の教育の魅了紹介

リーダーシップ・マインドフルネス・ビジネスに関する内容の動画配信

12. 海外学生募集活動

- A) 英語による学校紹介動画作成
- B) MOU による姉妹大学とのネットワーク構築の強化

13. 社会連携

- A) 21 世紀のグローバル社会における公共性の構築
- B) 学術成果の社会への還元（健康栄養の授業・英語会話の授業・グローバル教養の授業・リーダーシップコーチングの動画公開）など
- C) 学術成果を活用した連携や起業の更なる促進
- D) 教育機能の社会への展開充実
- E) 本学の教育への企業や公共機関・地域の活動家・専門機関の参加の強化

14. 運営

- A) 機動的な運営体制の確立（管理と教職の融合）充実
- B) 小型学園運営体制と役職の合理化（事務長と科長役職の融合による管理の合理化と人件費の削減）
- C) 基盤的な教育・研究経費の確保（科研費・企業）
- D) 卒業生・支援者・姉妹大学や高校とのネットワークの充実
- E) 働き方改革と経営の合理化および人権費削減を目指した日曜日の閉門
- F) 管理の DX 化

15. 未来における本学の新事業の可能性

- A) 世界の（26 の国や地域）カトリック高校と指定高推薦制度を導入し、学生を募集する。
- B) 世界の地方大学と MOU を通じて教育協力制度を構築し、世界的な教育機関になる。
- C) 少子高齢化対策として、県や国からグローバルな教育への理解と支援を得る。
- D) 新教育方法・制度・研究内容への国や県の支援を得る。